



# 医療福祉相談室の環境に関する研究

保健福祉学部 人間福祉学科  
准教授 永野 なおみ (ながの なおみ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 2542 号室  
Tel 0848-60-1240 Fax 0848-60-1240  
E-mail nagano@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： ソーシャルワーク 社会福祉専門職養成教育  
相談室の環境  
キーワード： 医療ソーシャルワーク 医療福祉 養成教育  
医療福祉相談室

病院内の相談室は、困難を抱えた人を迎え入れる場所です。その環境が未整備であれば、相談の内容にも影響を与えることになり、改善は医療ソーシャルワークの質の担保にとって重要な課題です。

## ● 主な取り組み・活動

社会福祉の黎明期から、病気や怪我は人々が貧困に陥る大きな要因でした。現在もそれは変わらず、生活保護の開始理由は、世帯主の傷病によるものが長く一位を占めています。これまで、こうした病気のために支援を必要とする人たちに対応する医療ソーシャルワークのあり方と、その担い手の養成教育について研究してきました。

医療ソーシャルワーカーは、社会福祉士の養成課程の中で教育されるのが一般的ですが、医療の領域でチームの一員として十分に役割を果たすためには、現行の教育のみでは不十分な点があると考えています。そこで、社会福祉実習の充実のために、病院での実習プログラムの検討を実習指導者と共に続けています。また、本学の IPE 教育の一つである「チーム医療福祉演習」等の科目を通して、他職種と協働できる力を備えた学生を現場に送り出すことに努めています。

近年は、医療ソーシャルワークが行われる病院内の相談室の環境も研究テーマとしています。現在では多くの病院に医療ソーシャルワーカーが配置され、相談室が確保されるようになりました。しかしその実態は不十分なもので、個人情報を守られる環境が確保されていなかったり、狭い・場所がわかりにくいなどの問題を抱えているところがまだ多くあります。



## ● 今後の目標・抱負

引き続き上記の研究テーマに取り組むと共に、本学附属診療センターを社会福祉の教育にも活かす方法を検討します。ささやかですが、私自身が医療ソーシャルワーカーとしての実践を行う過程に、学生が学ぶ機会を設けてゆくことが課題です。診療所併設という社会福祉士の養成機関として非常に恵まれた環境を、ぜひ教育に活かしたいと考えています。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

社会福祉の各領域で働くソーシャルワーカーの方々、社会福祉士会等の職能団体、及び当事者の方々と連携して、福祉の現場にある課題を研究していきたいと思っております。

## ● これまでの連携事例・実績

(社) 広島県社会福祉士会と共同で、平成 23 年度本学重点研究助成を受け「社会福祉士養成のための相談援助実習プログラム開発」というテーマで調査研究を行っています。